

令和二年度前期選抜学力検査

国語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問題用紙

- 意**
- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
 - 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
 - 三、問題は、**1**から**3**までで、**六**ページにわたって印刷してあります。

なお、問題用紙のほかに**別紙**があります。

- 注**
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
 - 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
 - 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の(一)～(八)の各問いに答えなさい。(十八点)

(一) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

- ① ピアニストに憧れる。 ② 梅の香が漂う。
- ④ 鳥がむれをなす。 ⑤ 図面のしゆくしやくを変更する。
- ③ 人生の岐路に立つ。
- ⑥ 姉は図書館にきんむしている。

(二) 次の①、②の四字熟語の傍線部分の漢字として最も適当なものを、それぞれあとのア～エから一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 呉越同しゆう (意味：仲の悪い者どうしが何かの事情で一緒にいること。)
 - ② 温知新 (意味：昔のことを研究して、そこから新しい知識や考え方を見つけること。)
- ア、舟 イ、宗 ウ、集 エ、収
- ア、個 イ、故 ウ、固 エ、枯

(三) 次の①、②の傍線部分と品詞が同じものはどれか。それぞれあとのア～エから最も適当なものを一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 私には、兄が二人います。
- ア、この本はおもしろい。 イ、こんなに楽しい旅行は初めてだ。
- ウ、では、こうしましょう。 エ、これをよく読んでください。

② もっと暖かければよい。

- ア、心を新たにして取り組む。 イ、大きな雪だるまをつくる。
- ウ、インクが少なくなってきた。 エ、必死に押ししても動かなかつた。

(四) 次の①、②の傍線部分は、()の中の指示にしたがうとどのようなようになるか。それぞれあとのア～エから最も適当なものを一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① お客様が、もうすぐ来ます。(尊敬語を用いた表現に換える。)

- ア、参ります イ、訪問します ウ、伺います エ、いらっしゃいます

② 先生から本をもららつた。(謙譲語を用いた表現に換える。)

- ア、いただいた イ、受け取った ウ、渡された エ、くださった

(五) 次の①、②の文の傍線部分が慣用句となるように、()に入る最も適当な言葉を、それぞれあとのア～エから一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 分かれていた意見が、委員長の()の一声でまとまった。

- ア、はと イ、きじ ウ、鶴 エ、鷹

② あの兄弟はそっくりで、まさに()二つだ。

- ア、くり イ、うり ウ、桃 エ、柿

(六) 次の古文の傍線部分を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。

御衣みぞどもなど、いよいよ薫たき染しめさせ給たまふものから、うち眺ながめてものし給たまふ気色けしき、いみじくうたげうたげにをかし。

(「源氏物語」による。)

(七) 次の漢文の書き下し文として正しいものはどれか。あとのア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

人 皆 有リ 不ル 忍ビ 人 之 心。

(「孟子」による。)

ア、人皆心の人に有り忍びざる。 イ、人皆心有りこれ人に忍びざる。
 ウ、人皆人に忍びざるの心有り。 エ、人皆忍びざるこれ心人に有り。

(八) 次の短歌と【歌意】を読んで、あとの①、②の各問いに答えなさい。

(短歌)
 【歌意】

① 次の _____ の中の文は、この短歌で使われている比喩ひゆについて説明したものである。文中の A、B に最も適当な言葉を、あとのア～エから一つずつ選び、その記号を書きなさい。

A 様子を B 様子にたとえている。

ア、花びらが舞う イ、空が澄み渡る ウ、水が満ちる エ、さざ波が立つ

② この短歌は「古今和歌集」に収められている。「古今和歌集」が成立した時代として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、奈良時代 イ、平安時代 ウ、鎌倉時代 エ、江戸時代

(次のページへ) ←

別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(二十点)

(一) 傍線部分(1)「うまく運ばない」とあるが、この場合と同じ意味で「運ぶ」という言葉が使われているものはどれか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、姉が慎重に荷物を運ぶ。 イ、一画ずつ丁寧に筆を運ぶ。
ウ、風が春のたよりを運ぶ。 エ、工事が予定どおりに運ぶ。

(二) 文中の に入る最も適当な言葉を、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、だから イ、しかし ウ、つまり エ、なぜなら

(三) 傍線部分(2)「他者不在の言語活動」とあるが、この場合の言語活動の「他者不在」と同様の状態をあらわしている言葉を、本文中から二つ、それぞれ四字で抜き出して書きなさい。

(四) 傍線部分(3)「相手があつて話をしているのだから、他者不在とはいえないのではないかという質問も出そうですね」とあるが、この部分とその次の段落の説明として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、この部分で考えの根拠を示し、次の段落で具体的な例を示して説明することによって、前に述べた意見を深めている。
イ、この部分で想定できる事態を示し、次の段落でその事態の解決方法を説明することで、前に述べた意見を強調している。
ウ、この部分で予想される反論を示し、次の段落でその反論に対する意見を述べることによって、前に述べた意見を補強している。
エ、この部分で類似する意見を示し、次の段落で異なる意見を述べることによって、前に述べた意見をさらに広げている。

(五) 傍線部分(4)「発散」と熟語の構成が同じものはどれか。次のア～オから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、温暖 イ、前後 ウ、猛犬 エ、洗顔 オ、雷鳴

(六) 傍線部分(5)「おしやべりは、相手に向かって話しているように見えても、実際は、モノログ（独り言）に近い」とあるが、おしやべりが話しているかを明らかにして、本文中の言葉を使って、四十五字以上五十五字以内で書きなさい。（句読点も一字に数える。）

おしやべりは、
だから。

(七) 傍線部分(6)「対話として成立しません」とあるが、筆者が考える、対話が成立するかどうかの決め手となるものは何か。本文中から十四字で抜き出して書きなさい。

(八) 傍線部分(7)「ダイアログとしての対話によって人は何をすることができるのか」とあるが、対話によってどのようなことをめざすことができるかと筆者は考えているか。次の
の中の文の
に入るように、対話によってどのようなことを学ぶかにふれて、本文中の言葉を使って、三十五字以上四十五字以内で書きなさい。（句読点も一字に数える。）

対話によって、
をめざすことができる。

保護者が行っている家庭の防災対策と、子どもが知っている家庭の防災対策

・保護者が行っている家庭の防災対策（保護者1,200人が回答 複数回答あり）

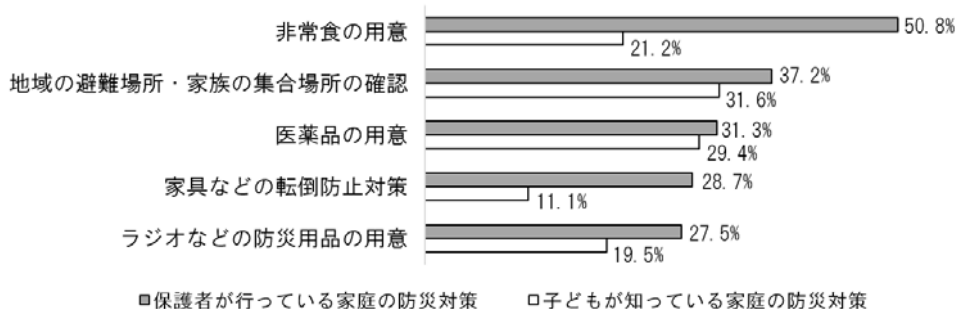
1位	非常食の用意	50.8%
2位	地域の避難場所・家族の集合場所の確認	37.2%
3位	医薬品の用意	31.3%
4位	家具などの転倒防止対策	28.7%
5位	ラジオなどの防災用品の用意	27.5%

・子どもが知っている家庭の防災対策（小中学生1,200人が回答 複数回答あり）

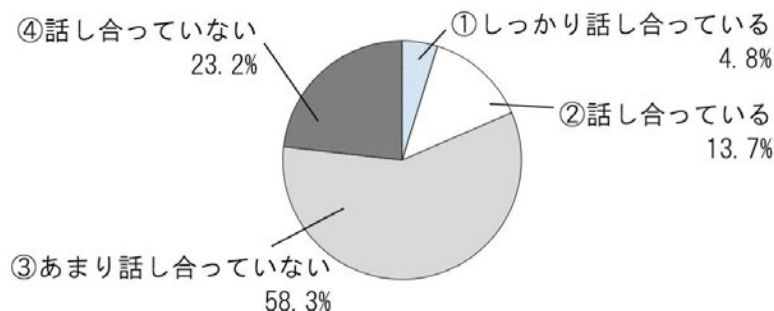
1位	地域の避難場所・家族の集合場所の確認	31.6%
2位	医薬品の用意	29.4%
3位	非常食の用意	21.2%
4位	ラジオなどの防災用品の用意	19.5%
5位	家具などの転倒防止対策	11.1%

【資料3】、【資料4】は、その結果をまとめたものである。ゆずるさんが住むA町で、小中学生とその保護者を対象に、「防災対策」についてのアンケートが行われた。これらを見て、あとの各問いに答えなさい。（十二点）

保護者が行っている家庭の防災対策と、子どもが知っている家庭の防災対策



防災対策について家庭で話し合っているか（小中学生1,200人が回答）



防災対策について、どのようなときに話し合うか（「防災対策について家庭で話し合っているか」という質問に対して、「①しっかり話し合っている」「②話し合っている」と回答した小中学生222人が回答 複数回答あり）

小学生のアンケート結果（上位5位）		
1位	学校で防災訓練を行った日	48.2%
2位	身近な地域で災害があったとき	43.4%
3位	他の地域で災害があったとき	34.1%
4位	防災の日の前後	18.3%
5位	夏休み・冬休みなど	9.8%

中学生のアンケート結果（上位5位）		
1位	他の地域で災害があったとき	59.7%
2位	学校で防災訓練を行った日	35.4%
3位	身近な地域で災害があったとき	30.2%
4位	日常的に話し合う	22.9%
5位	防災の日の前後	11.3%
5位	夏休み・冬休みなど	11.3%

【資料は「子どもの防災に関する意識調査（2019年）」（株式会社バンダイ）をもとに作成。】

(一) 【資料2】のグラフは、【資料1】の表をもとにまとめたものである。読み手にどのようなことを示すために、【資料2】の形式でグラフが作成されているか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、保護者が行っている家庭の防災対策の中で、小学生と中学生との防災意識の違いを示すため。
イ、保護者が行っている家庭の防災対策で、保護者が重要度が高いと考える防災対策を示すため。
ウ、保護者が行っている家庭の防災対策と子どもが知っている家庭の防災対策との差を示すため。
エ、保護者が行っている家庭の防災対策のうち、子どもが行うことのできる防災対策を示すため。

(二) 【資料4】から分かることを、次の〔 〕の中の文にまとめた。文中の〔 〕に入る言葉を、【資料4】から抜き出して書きなさい。

「防災対策について、どのようなときに話し合うか」という質問に対して、小学生と中学生の回答の上位五位において、中学生には、小学生の回答にはない「〔 〕」という回答がある。

(三) ゆずるさんは【資料3】を見て、「しっかりと話し合っている」と回答した人数の割合が低いことに気がつき、防災対策について家庭でもっと話し合うべきだと考えた。「防災対策について家庭で話し合うこと」について、あなたの考えを、次の〔注意〕にしたがって書きなさい。

〔注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② どのようなときに、どのような内容を話し合うかを明確にして、あなたの考えを書きなさい。
- ③ あなたの考えが的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方にしたがって、全体を二百字以上二百四十字以内にまとめなさい。

— おわり —